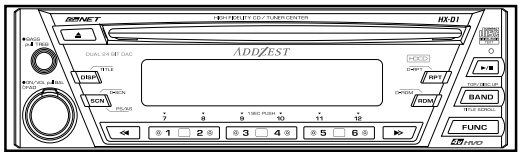
ADDZEST

CD/MD コントロール 、AM/FM チューナー付
CD デッキ

HX-D1

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作するCDチェンジャーおよびMDチェンジャーの操作説明も含まれています。CDチェンジャーやMDチェンジャーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長 5
ご使用の前に 6
　安全に正しくお使いいただくために 6
　安全上のご注意 7
　本体のお手入れについて 9
　ディスプレイ部について 9
　CDの演奏について 9
　CDについて 9
　エラー表示について 9

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

■各部の名称とはたらき

本体部 10
各部の名称とはたらき 10
ディスプレイ表示 12

■基本の操作

システムチェックについて 13
電源を入れる 14
モードを選ぶ 14
音量を調節する 14
音質を調整する(バス/トレブル) 15
バランスを調整する 15
フェダーを調整する 15
時刻を合わせる 16
ディスプレイ表示を切り換える 17
タイトル表示を切り換える 17
タイトルをスクロールさせる 17

■ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ 18
受信バンドを切り換える 18
自動選局する(シーク選局) 18
手動選局する(マニュアル選局) 19
プリセット選局する 19
プリセットメモリーする 19
自動メモリーする(オートストア機能) 19
放送を確かめる(プリセットスキャン) 20
FMダイバーシティーをON/OFFする 20

■CDを聴く

CDを入れる 21
CDを取り出す 21
すでに入っているCDを聴く 21
曲を選ぶ 22
演奏を止める(一時停止) 22
早送り/早戻しする 22
最初の曲から聴く(トップ機能) 22
聴きたい曲を探す(スキャン演奏) 23
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏) 23
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏) 23
ディザ量を切り換える 23

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

■CD/MDチェンジャーの操作

チェンジャーモードを選ぶ 24
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ 25
曲を選ぶ 25
早送り/早戻しする 25
演奏を止める(一時停止) 25
最初の曲から聴く(トップ機能) 25
聴きたい曲を探す(スキャン演奏) 26
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏) 26
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏) 27
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏) 27
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏) 27
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く
　(ディスクランダム演奏) 27

■テレビを見る

TVモードを選ぶ 28
テレビの操作について 28

■携帯用オーディオ等を聴く(AUXモード)

AUXモードを選ぶ 29
AUX端子に接続された外部機器の操作 29
AUX入力感度を切り換える 29

その他

システムアップについて 30
　CeNETケーブルについて 31
故障と思われる前に 32
エラー表示について 33
仕様 34
アフターサービスについて 35

主な特長

本機は、AM/FMラジオと、CDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャーまたはMDチェンジャーを接続してコントロールできるCeNET結線対応のセンターユニットです。

■表示/操作部
- 音質重視の高品位アナログボリュームを採用。ディスプレイには視認性のよいFL管を採用。
- CDチェンジャーとMDチェンジャーのダイレクトオペレーションスイッチに、ディスクインジケーターを配置。視認性と操作性が大幅に向上しています。
- ボリュームノブに、質感・操作感に優れたアルミ切削品を採用。
- 高品位白色照明。高輝度白色LEDの採用により、視認性と質感が向上しています。

■ラジオ部
- FMダイバーシティを搭載
- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

■CDプレーヤー部
- 24bit D/Aコンバータ搭載。SN比110dB、ダイナミックレンジは100dBと高性能です。
- 8倍オーバーサンプリングデジタルフィルタ採用。
- HDCDデコーダICを搭載。 HDCD 通常のディスクでも、忠実で迫力のあるハイクオリティサウンドを再現し、HDCDディスクでは、更にダイナミックレンジの広い、臨場感あふれる音場を再現します。
- 光デジタル入力端子を装備。同端子装備のCDチェンジャー等とデジタルダイレクト接続し、ハイクオリティサウンドをお楽しみいただけます。(専用デジタル光ファイバーケーブルが必要です。)
- 演奏中の曲やCDを繰り返し演奏するリピート機能。
- CD内の各曲や各CDの1曲目を10秒間ずつ再生するスキャン機能。
- 1枚のCDまたは全CDの曲を順不同に演奏するランダム機能。

■CD/MDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているCDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

■ CeNET (Clarion Entertainment Network シーイーネット) 結線対応
- 外部機器との結線に、新開発のCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスは必要ありません。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能。

■セパレートDC/DCコンバーター採用
- 駆動電圧を上げて、ノンクリップ9.0Vのハイボルテージアウトプットを実現。また本体との分離により、優れたSN比を確保しています。

■外部入/出力用高純度OFC極太RCAケーブルを採用

■全面銅メッキシャーシを採用
- 迷走電流や外部ノイズの侵入を低減します。

※ HDCD、HDCD®、High Definition Compatible Digital® および Pacific Microsonics™ は、米国および/またはその他の国における Pacific Microsonics,Inc.の登録商標または商標です。HDCDシステムはPacific Microsonics,Inc.からのライセンスに基づき製造されたものです。この製品は、下記の1つ以上によってカバーされています:米国において:5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531、オーストラリアにおいて:669114、その他の特許出願。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない･･･

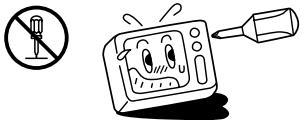
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない･･･

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

●本機を分解したり、改造しない･･･

事故や火災、感電の原因となります。

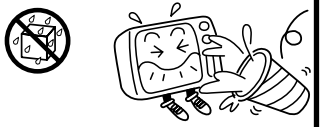


●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない･･･

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する･･･

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



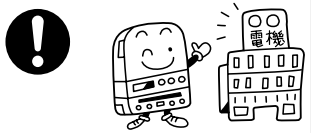
⚠ 警 告

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する･･･

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する･･･

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない・・・

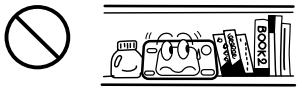
ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。



●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

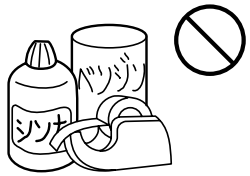
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする・・・

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠注 意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

CDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

⚠警 告 **本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。**

ディスプレイ部について

●本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

CDについて

COMPACT DIGITAL AUDIO マークまたは COMPACT DIGITAL AUDIO TEXT のついたCDをご使用ください。

また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。

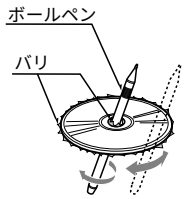
■取扱い上のご注意

●レーベル面（印刷面）に文字などを記入しないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。

●新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

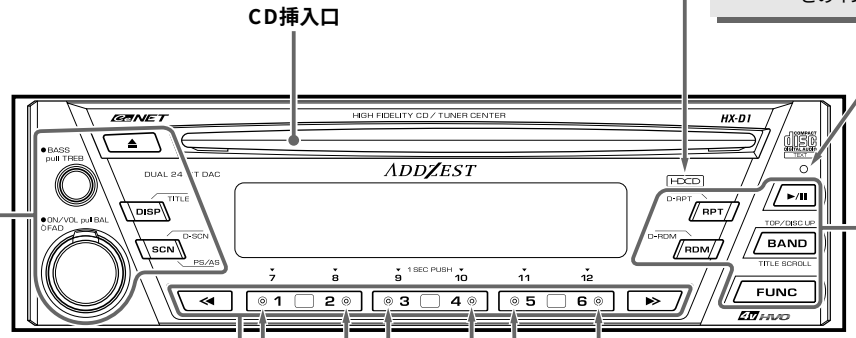
●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されらときには、33ページを参照して障害を取除いてください。障害を取除けば、通常の動作にもどります。

各部の名称とはたらき

本体部



イジェクトボタン
CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

ディスプレイボタン
ディスプレイ表示を切換えます。

スキャンボタン
- ラジオモード時は、プリセットスキャン、オートストアします。
- CDモード/CDチェンジャーモード/MDチェンジャーモード時は、10秒間ずつスキャン演奏します。

音質調整ツマミ
低音/高音域(バス/トレブル)を調整します。

フェダー調整ツマミ
音量の前後バランスを調整します。

音量調整ツマミ
時計方向または反時計方向に回して、電源のON/OFF、音量の調節、左右バランスの調整をします。

HDCDインジケーター
HDCD録音されたCDの演奏時、このインジケーターが点灯します。

リピートボタン
CDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、繰返し演奏します。

ランダムボタン
CDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、ランダム演奏します。

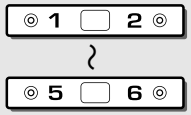
プレイ/ポーズボタン
CDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、演奏/一時停止します。

バンドボタン
- ラジオモード時は、バンドの切換えや、自動/手動選局を切換えます。
- CDモード、CD/MDチェンジャーモード時は、最初の曲を演奏します。
- CDまたはMDのタイトルをスクロールします。

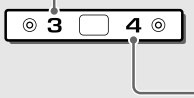
ファンクションボタン
ラジオモード、CDモード、CDチェンジャーモード等を切換えます。

ダウンボタン
ラジオモード時は選局、CDを聴くときは選曲します。各種設定にも使用します。

アップボタン
ラジオモード時は選局、CDを聴くときは選曲します。各種設定にも使用します。

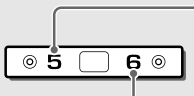


ダイレクトボタン
- ラジオモード時は、放送局をメモリーして、直接呼出します。
- CD/MDチェンジャーモード時は、演奏するディスクを指定します。



ダイレクト3ボタン
CDモード時、ディスプレイボタンを押しながらこのボタンを押すと、ディザ(DITHER1～3)が切換わります。

ダイレクト4ボタン
ディスプレイボタンを押しながらこのボタンを押すと、表示を消すことができます。再度ディスプレイボタンを押すと再び表示します。



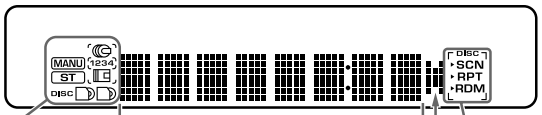
ダイレクト5ボタン
FM放送受信時にバンドボタンを押しながらこのボタンを押すと、FMダイバーシティ受信をON/OFFします。

ダイレクト6ボタン
AUXモード時にバンドボタンを押しながらこのボタンを押すと、AUX入力感度(LOW⇔HIGH)が切換わります。

◎ ディスク/プリセットインジケーター
- CDチェンジャーモード時に、CDチェンジャーのCD装着状況(マガジン内に入っているCDのディスクNo.が点灯)を点灯表示します。
- ラジオモード時は、プリセット受信しているチャンネルのインジケーターが点灯します。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ表示



DISC :ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム時に点灯

▸SCN :スキャン演奏時に点灯

▸RPT :リピート演奏時に点灯

▸RDM :ランダム演奏時に点灯

:タイトルスクロールインジケーター

:CDチェンジャーインジケーター

1234 :CDチェンジャーナンバーインジケーター

:MDチェンジャーインジケーター

MANU :マニュアルインジケーター
手動選局時に点灯します。

ST :ステレオインジケーター
FMステレオ受信時に点灯します。

DISC :CDマガジンインジケーター

<タイトル表示部の表示内容>

・ラジオモード時の表示

AM1 596 :AM受信バンドと周波数表示
FM1 83.0 :FM受信バンドと周波数表示
A-STORE :オートストア選択時に表示

・CDモード時の表示

EJECT :CDイジェクトしたとき
LOADING :CDを挿入したとき
NO DISC :CDが挿入されていないとき

・CDモード、CD/MDチェンジャー時の表示

PAUSE :ポーズ中(一時停止)
T 01 00:15 :演奏トラックと演奏時間
D 01 T 01 :演奏ディスクと演奏トラック
T-SCAN :トラックスキャンのとき
T-REPEAT :トラックリピートのとき
T-RANDOM :トラックランダムのとき

・CD/MDチェンジャー時の表示

D-SCAN :ディスクスキャンのとき
D-REPEAT :ディスクリピートのとき
D-RANDOM :ディスクランダムのとき
NO MAG :CDチェンジャーにマガジンがセットされていないとき

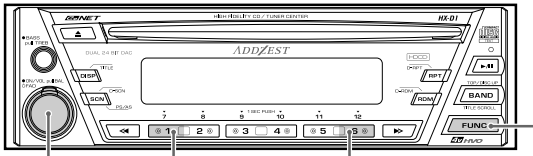
・システムチェック時の表示

"SYSTEM" "CHECK"
"Func" "Push"
"CHECKING"
:システムチェック中(**"Func" "Push"**のときにファンクションボタンを押して下さい。詳しくは次ページを参照ください。)

・その他の表示

AM 1:05 :時計表示

基本の操作



音量調整ツマミ

ダイレクトボタン1

ダイレクトボタン6

ファンクションボタン

システムチェックについて

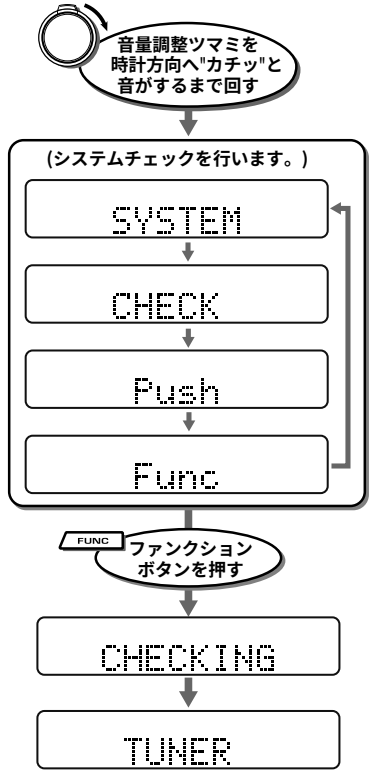
本機に採用されているCeNET方式は、システムチェック機能を採用しています。このシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。

- **本機の取付直後に電源を入れたとき。**
- **外部機器を接続または取り外したとき。**
- **バッテリー交換等で長時間電源が切れたとき。**
- **リセットボタンを押したとき。**

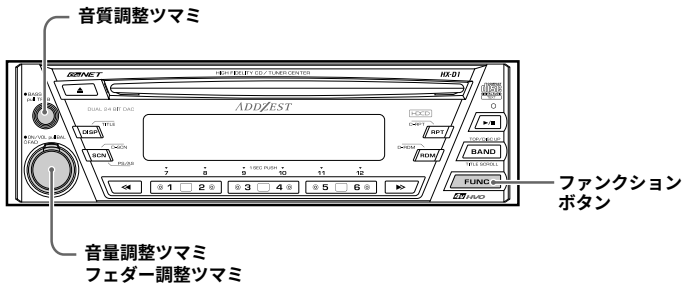
ご注意

本機と外部機器の接続コードをデジタル光ファイバーに変更したとき、またはデジタル入力からアナログ入力に戻すためデジタル光ファイバーを取り外したときは、ダイレクトボタンの[1]と[6]を押しながら、ファンクションボタンを押して、システムチェックを行ってください。

[1] + [6] + FUNC



基本の操作



電源を入れる

音量調整ツマミをカチッと音がするまで時計方向へ回す

→前回の操作終了時のモードが表示されます。

- 時刻の設定は、16ページをご覧ください。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

音量調整ツマミをカチッと音がするまで反時計方向へ回してください。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す

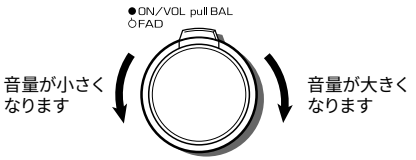
→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ→CD→(CDチェンジャー)→AUX→(TV)→(MDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。
- CDモード時に、ディスクが入っていないときは「**NO DISC**」を、CDチェンジャーモード時にマガジンが入っていないときには、「**NO MAG**」を表示します。

音量を調節する

音量調整ツマミを時計方向または反時計方向へ回す



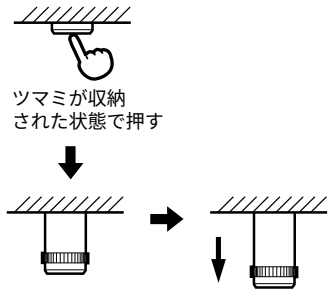
⚠注 意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音質を調整する(バス/トレブル)

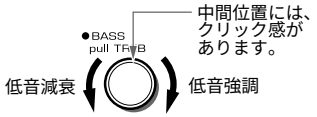
1 音質調整ツマミを押して出す

＜上から見た図＞



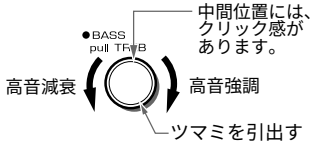
■低音域(BASS)を調整するには

2 音質調整ツマミを回して調整する



■高音域(TREBLE)を調整するには

2 手順1でツマミが出た状態から、さらにツマミを手で引き出し(少しきつめになっています)、回して調整する

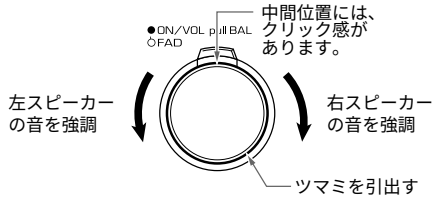


ご注意

- **ツマミはゆっくり引き出してください。強く引き出すと、ツマミがはずれてしまいます。**
- **調整が終わったら、ツマミを押して収納してください。**

バランスを調整する

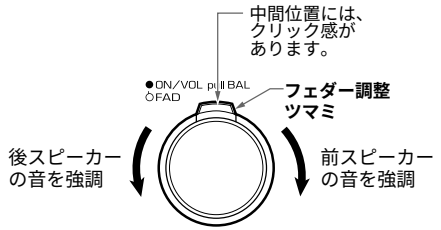
音量調整ツマミを引き出し、回して調整する

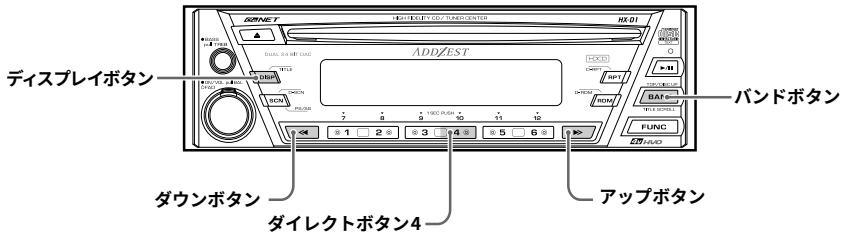


- 調整が終わったら、ツマミを押して収納してください。

フェダーを調整する

フェダー調整ツマミを回して調整する





時刻を合わせる

・時計は12時間表示で、午前・午後をAM・PMで表示します。

1 ディスプレイボタンを押す

DISP

→時計表示になります。

ご注意

- **時刻を合わせる途中で他のボタン操作をすると、時刻調整は解除されます。**
- **点検や修理などでバッテリーを外したときは、もう１度時刻合わせをしてください。**

2 ディスプレイボタンを押し続ける（約2秒間）

DISP

→時刻表示が点滅します。

3 アップボタンまたはダウンボタンを押して、時刻を合わせる

● 時のセット　　● 分のセット

◀◀　　▶▶

押すたびに時が進みます　　押すたびに分が進みます

4 ディスプレイボタンを押す

DISP

→時刻が設定されます。

・常時時刻表示にしておきたいときは、次ページの「ディスプレイ表示を切り換える」の手順で切り換えてください。

ディスプレイ表示を切り換える

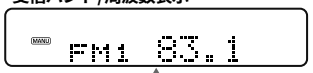
ディスプレイボタンを押す

DISP

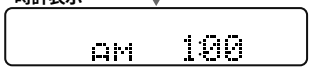
→押すたびに、次のように切り換わります。

●ラジオモードの場合

・受信バンド/周波数表示

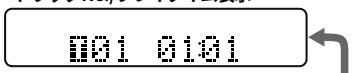


・時計表示



●CDモード、CD/MDチェンジャーモードの場合

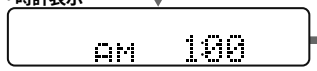
・トラックNo./プレイタイム表示



チェンジャーモード時にディスプレイボタンを押し続ける（約2秒間）と、ディスクNo./トラックNo.表示になります。

・タイトル表示

・時計表示



■ディスプレイ表示を消すには…

1 ディスプレイボタンとダイレクトボタンの4を同時に押してください。

→ディスプレイ表示が消えます。

ご注意

この状態のときは、イジェクトボタンと電源スイッチ以外のボタンは使用できません。もう１度ディスプレイボタンを押すか、または電源をOFFにすると、元の状態に戻ります。

タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

CDモードにおけるCD再生時、CDチェンジャーモードにおける通常のCDまたはCDテキスト再生時、MDモード/MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲（トラック）タイトル等を、本機のディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける（約2秒間）

DISP

→ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

ディスクタイトル(CDテキスト/MD時)
↓
アーティスト名(CDテキスト時)
↓
トラックタイトル(CDテキスト/MD時)
↑（ディスクタイトルへ戻る）

※タイトルが設定されていないときは、次のように表示します。

- CDテキスト対応のCDチェンジャーで通常のCDを再生した場合
  ディスクタイトル：「D NO-TEXT」
  アーティスト名　：「A NO-TEXT」
  トラックタイトル：「T NO-TEXT」
- タイトルが入力されていないMDの場合
  ディスクタイトル：「D NO-TTL」
  トラックタイトル：「T NO-TTL」

タイトルをスクロールさせる

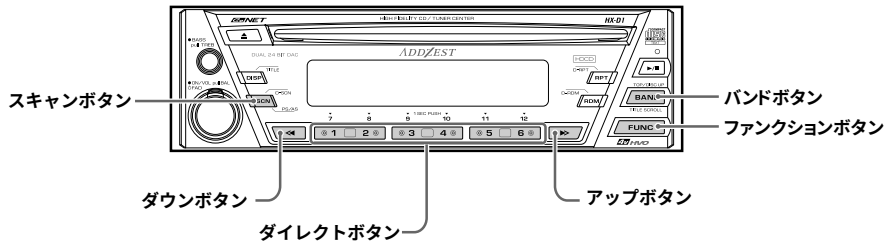
タイトルが表示されているときに、バンドボタンを押し続ける（約2秒間）

BAND

→タイトルが左にスクロールします。

・タイトルの末尾まで表示すると、最初の8文字表示に戻ります。

ラジオ放送を聴く



ラジオモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

FUNC

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ→CD→(CDチェンジャー)→AUX→(TV)→(MDチェンジャー)→ラジオ

受信バンドを切り換える

バンドボタンを押す

BAND

- バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2→FM1

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

BAND

→ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

2 アップボタンまたはダウンボタンを押す

◀◀ 周波数ダウン

▶▶ 周波数アップ

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

BAND

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 アップボタンまたはダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる

◀◀ 周波数ダウン

▶▶ 周波数アップ

＊手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、アップボタンまたはダウンボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、アップボタンまたはダウンボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について・・・

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

1 2 | 3 4 | 5 6

→ダイレクトボタンのインジケータが点灯します。

- メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

ご注意

選局時にダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 アップボタンまたはダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

◀◀ 周波数ダウン

▶▶ 周波数アップ

2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)

1 2 | 3 4 | 5 6

→メモリーされると、ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

SCN

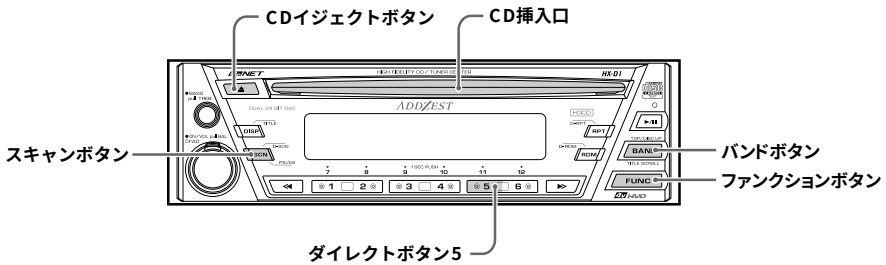
→ディスプレイに「**A-STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットインジケータが点灯します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1～6)にメモリーされていきます。

ご注意

- **自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。**
- **メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残っています。**
- **すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。**

ラジオ放送を聴く



放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す

SCN

→ディスプレイに「**P-SCAN**」を表示した後、プリセットスキャン動作中の受信バンドと周波数を表示します。

- プリセットスキャンはメモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

FMダイバーシティーをON/OFFする

FMダイバーシティーについて…

FM放送受信時に、受信電波の強いアンテナに自動的に切り換えます。
アンテナを2本接続したときは「ON」に、アンテナを1本接続したときは「OFF」に設定してください。(工場出荷時は、「ON」に設定されています。)設定を間違えると、ノイズの原因となります。

1 バンドボタンを押して、FM放送に切り換える

BAND

2 バンドボタンを押しながら、ダイレクトボタンの5を押す

BAND + ◎ 5

→ディスプレイに「**FM DIVER**」を表示した後、FMダイバーシティの設定を切り換えて、「**ON**」または「**OFF**」を表示します。

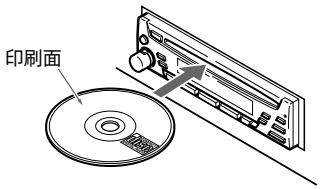
CDを聴く

CDを入れる

⚠注 意

- **CD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。**
- **セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。**

CD挿入口にCDを入れる



→演奏が始まります。

- CDは、タイトル等が印刷されている面を上側にして入れてください。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は、COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT 表示のあるコンパクトディスク以外は使用できません。また、ハート形や八角形などの特殊形状のCDは、使用できません。
- CD-ROMは、使用しないでください。
- CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

■ シングルCD(8cmCD)について

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■ タイトル表示を切り換えるには…

ディスプレイボタンを押して、タイトル表示に切り換えた後、ディスプレイボタンを押し続け(約2秒間)てください。
詳しくは「タイトル表示を切り換える」(17ページ)をご覧ください。

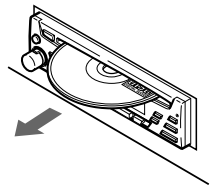
CDを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDを取り出すことができます。

CDイジェクトボタンを押す

⏏



- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

すでに入っているCDを聴く

ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ

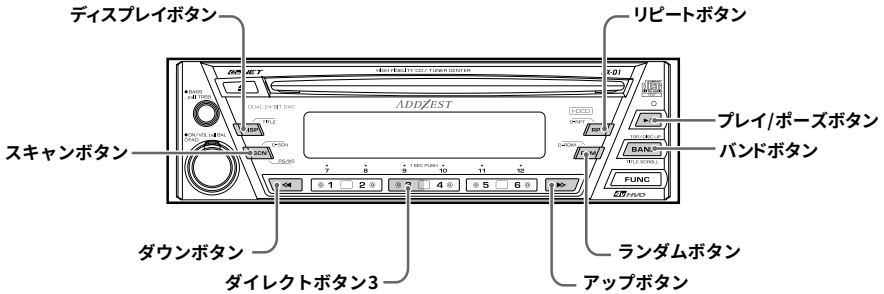
FUNC

→CDモードになると、自動的に演奏が始まります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → CD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (TV) → AUX → ラジオ

CDを聴く



曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、アップボタンを押す

前の曲を聴くときは、ダウンボタンを2回押す

→アップボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→ダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにダウンボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す

→ディスプレイに「**PAUSE**」を表示します。

■ *続けて演奏を聴きたいときには…*

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

早送り/早戻しする

早送りするときは、アップボタンを押し続ける

早戻しするときは、ダウンボタンを押し続ける

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

演奏しているCDの最初の曲から演奏をはじめます。

バンドボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

CDに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す

→ディスプレイに「▶ **SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

■ *スキャン演奏を解除するには…*

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **SCN**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す

→ディスプレイに「▶ **RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■ *リピート演奏を解除するには…*

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **RPT**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…

CDに収録されている曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す

→ディスプレイに「▶ **RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ *ランダム演奏を解除するには…*

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

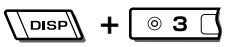
ディザ量を切り換える

“ディザ”とは…

もともと録音時における量子化歪みあるいは量子化雑音を少なくする手法として開発された技術ですが、CDプレーヤーのような再生システムにおいても、D/A変換誤差が原理的に発生しますので、D/A変換前のデジタルデータに、“ディザ”と呼ばれるランダムノイズ成分を加えることで、意図的に量子化歪み/雑音を少なくすることができます。

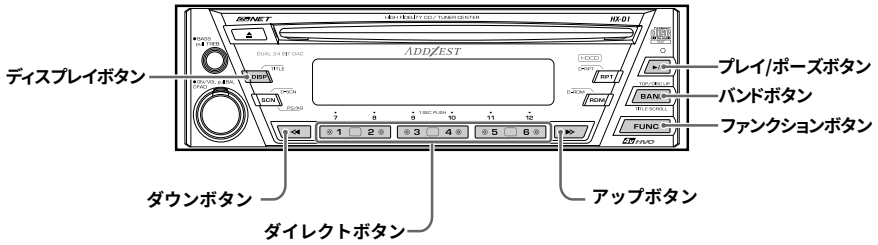
ディスプレイボタンを押しながらダイレクトボタンの3を押す

→ディスプレイボタンを押しながらダイレクトボタンの3を押すたびに、次のように切り換わります。



DITHER1…ディザOFF
↓
DITHER2…ディザ量　小
↓
DITHER3…ディザ量　大
↓
DITHER1…

CD/MDチェンジャーの操作



チェンジャーモードを選ぶ

CDチェンジャーについて…

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて…

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて…

本機ではCD-ROMを操作できません。CDR655z/CDR655Tz/CDR1255zを接続した場合は、音声部分のみ再生し、データ部分は無音になります。

ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ

FUNC

→CD(またはMD)チェンジャーモードになると、ディスプレイにチェンジャーインジケータ(CDチェンジャー:◎ MDチェンジャー:▣)が点灯し、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ→CD→(CDチェンジャー)→AUX→(TV)→(MDチェンジャー)→ラジオ

■2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。

■タイトル表示を切り換えるには…

ディスプレイボタンを押して、タイトル表示に切り換えた後、ディスプレイボタンを押し続け(約2秒間)てください。
詳しくは「タイトル表示を切り換える」(17ページ)をご覧ください。

聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

ダイレクトボタン(1～6)を押す

1 2 3 4 5 6

または、バンドボタンを押す

BAND

→最初の曲から演奏をはじめます。

- バンドボタンを押したときは、演奏しているディスクの次のディスクに切り換わります。
- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。

■12枚CDチェンジャー接続時に、7～12のディスクを選ぶには…

ダイレクトボタン(1～6)を押し続け(約1秒間)てください。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、アップボタンを押す

⏭

前の曲を聴くときは、ダウンボタンを2回押す

⏮

→アップボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→ダウンボタンを1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにダウンボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

早送りするときは、アップボタンを押し続ける

⏭

早戻しするときは、ダウンボタンを押し続ける

⏮

演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す

⏯

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■続けて演奏を聴きたいときには…

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

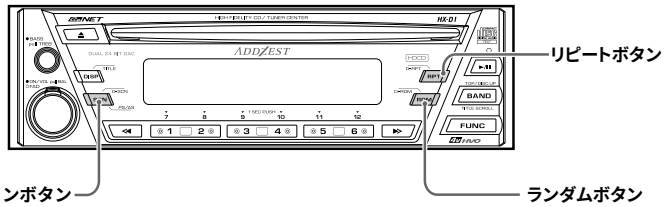
1～6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタン(1～6)を押す

7～12のディスクを演奏しているときは(12枚CDチェンジャー接続時のみ)、演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約1秒間)

1 2 3 4 5 6

- MDまたはマガジンにCDが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

CD/MDチェンジャーの操作



聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す

SCN

→ディスプレイに「▶ **SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **SCN**」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

SCN

→ディスプレイに「**DISC**」と「▶ **SCN**」が点灯して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「▶ **SCN**」が消え、いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す

RPT

→ディスプレイに「▶ **RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **RPT**」が消え、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…

演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す

RDM

→ディスプレイに「▶ **RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「▶ **RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…

演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT

→ディスプレイに「**DISC**」と「▶ **RPT**」が点灯して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには・・・

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「▶ **RPT**」が消え、通常の演奏になります。

全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…

チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

RDM

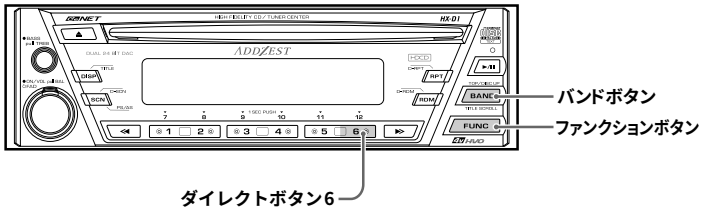
→ディスプレイに「**DISC**」と「▶ **RDM**」が点灯して、ディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「▶ **RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る



TVモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ

FUNC

→ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません。)
TVモードが選択されると、ディスプレイに「TV」が表示されます。

ラジオ→CD→(CDチェンジャー)→AUX→(TV)→(MDチェンジャー)

テレビの操作について

**テレビの操作は全てテレビ側の操作ボタンで行います。また表示も全てテレビ側で行います。
操作方法については、テレビの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。**

携帯用オーディオ等を聴く(AUXモード)

■AUXモードについて…

本機はAUX端子に携帯用オーディオ等を接続することにより、外部機器の音声を聴くことができます。

AUXモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、AUXモードを選ぶ

FUNC

→AUX モードが選択されると、ディスプレイに「**AUX**」が表示されます。
ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(AUXモードは外部機器の接続の有無にかかわらず常に表示します。)

AUX端子に接続された外部機器の操作

**外部機器の操作は全て外部機器の操作ボタンで行ってください。
操作方法については、外部機器の取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。**

AUX入力感度を切り換える

外部機器のRCA入力の感度をHIGHまたはLOWに切り換えることができます。

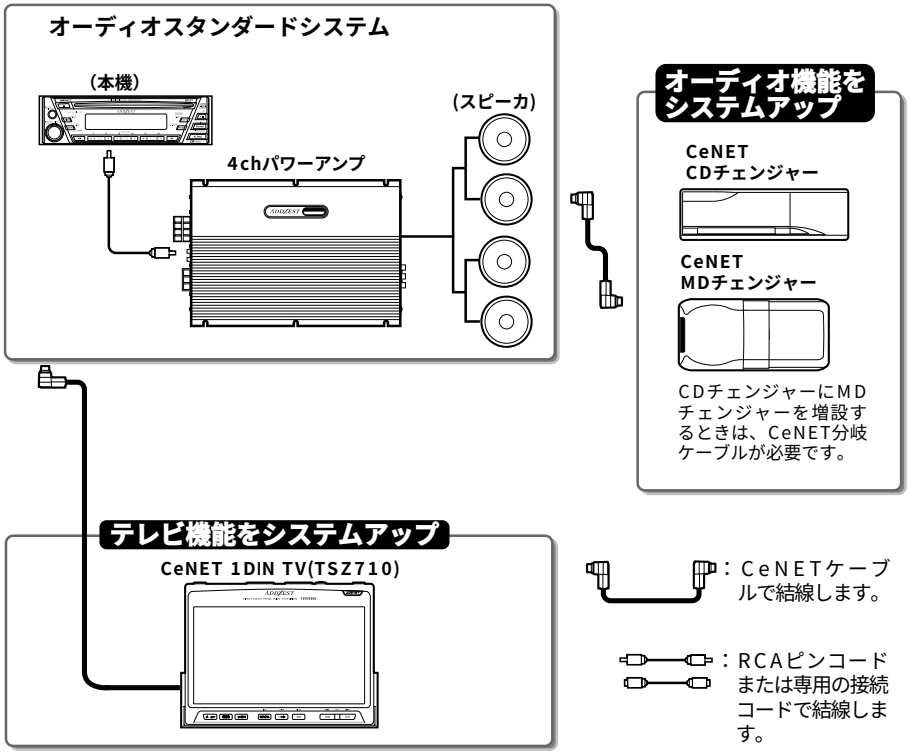
バンドボタンを押しながらプリセットボタンの6を押す

BAND + 6 ◎

→「**AUX SENS**」→「**HIGH**」または「**LOW**」が約2秒間表示されます。

システムアップについて

本機は CeNET マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



※システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

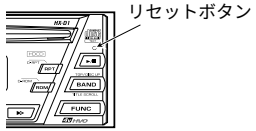
■ CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス⇔メス>

<> 内は、コネクターの形状を表しています。

故障と思われる前に

現　象	原　因	処　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。（メイン電源…3A） 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものと交換してください
電源を入れた直後音がよくない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります	電源を入れた状態にして約1時間乾燥させてください
ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください **（注）** • リセットボタンを押すときは、音量を最小にしてから押してください  • リセットボタンを押すと、メモリーした放送局が全て消去されます

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

エラー表示	原　因	対処方法
ERROR2	CDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	本機またはCDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
ERROR3	CDに傷などがあり、演奏できないときの表示	本機またはCDチェンジャーのCDを傷やソリのないCDと交換してください。
ERROR6	CDチェンジャーのCDが裏返しに入っていて、演奏できないときの表示	CDを正しく入れ直してください。

ここに上げているエラー以外の表示が出たときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも、復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

■ CDプレーヤー部

周波数特性	：5Hz～20kHz ± 0.5dB
SN比	：110dB
ダイナミックレンジ	：100dB
高調波ひずみ率	：0.005%

■ FMチューナー部

受信周波数	：76.0MHz～90.0MHz
実用感度	：9dBf
50dBクワイティング感度（モノラル）	：15dBf
周波数特性	：30Hz～15kHz±3dB
SN比	：70dB
高調波ひずみ率	：0.3%（1kHz）
分離度	：35dB（1kHz、60dBf）

■ AMチューナー部

受信周波数	：522kHz～1,629kHz
実用感度	：28dB（μV）
SN比	：50dB

■ オーディオ部

トーンコントロール	: BASS±12dB（50Hz） TREBLE±12dB（10kHz）
出力レベル（CD1kHz）	：4V（負荷10kΩ）

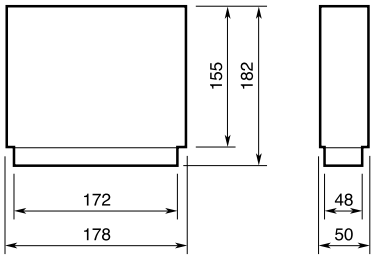
■ AUX部

入力感度	: AUX H 650mV（4V出力時） : AUX L　1.3V（4V出力時）

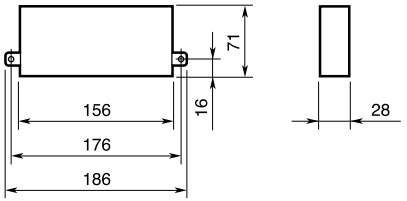
■ 共通部

接地方式	：マイナスアース
電源電圧	：DC14.4V
消費電流	：1.1A
ヒューズ定格	：メイン電源A　3A メイン電源B　3A
外形寸法	：本体 178(W) × 50(H)×182(D)mm [取付寸法：155(D)mm] DC/DCコンバーター 186(W) × 28(H)×71(D)mm
質　量	：本体　1.6kg DC/DCコンバーター　0.3kg

〈本体〉



〈DC/DCコンバーター〉



■ 付属品

- DC/DCコンバーター 1個
- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- プレートナット 2個
- タッピングスクリュー（5×16） 2本
- サラネジ（M5×8） 4本
- セムス六角ボルト 5本
- ケーブルクリップ 1個

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in Japan　2000/9（CL.K）　PA-2346A　280-7456-00